

# ISO22000 認証取得コンサルティング スケジュール例

期間:15ヶ月  
訪問回数:15回

内容	システム構築期間										運用期間				
	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目	10ヶ月目	11ヶ月目	12ヶ月目	13ヶ月目	14ヶ月目	15ヶ月目
システム構築基本事項の確認 一般講習	→														
現状調査			→												
危害因子のための情報収集				→											
危害因子分析(CCPの決定)					→										
危害因子管理総括表の作成									→						
システム構築 食品安全マニュアル/ 下位文書・帳票類の作成										→					
システム説明及び規格解説											→				
内部監査員研修												→			
運用状況チェック、内部監査計画													→		
内部監査実施														→	
最終チェック(模擬審査)															→
コンサルタント訪問(15回)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

審査  
受審

## 訪問時実施事項概略

回数	実施事項	主な内容
1	システム構築基本事項の確認 一般講習	システム構築に関する基本的な事項(スケジュール、推進体制等)について確認します。ISO及びISO22000に関する基本的な講習を実施します。
1~9	現状調査	御社の現状について、把握させていただきます。
	危害因子分析のための情報収集	食品安全に危害を及ぼす可能性のある危害因子について、分析をするための情報を収集します。
	危害因子分析(CCPの決定)	収集された情報に基づき、危害因子分析を実施し、CCPやOPRPを決定します。
	危害因子管理総括表の作成	危害因子をどのような方法で管理するのかをまとめた危害因子管理総括表を作成します。
6~10	システム構築 食品安全マニュアル/ 下位文書・帳票類の作成	ISO22000のシステムを構築します。特に、目標管理や力量管理、不適合、是正・予防の管理、内部監査の仕組み等を構築し、それらを網羅した食品安全マニュアルを作成します。必要に応じて、下位文書を作成します。また、ISO22000が要求する記録をどのように残すかを決定し(帳票の明確化)、記録を維持します。
11	システム説明及び規格解説	食品安全マニュアル・下位文書・帳票類の説明をしつつ、ISO規格要求事項を説明します。
12	内部監査員研修	内部監査を実施するための内部監査員を育成します。
13	運用状況チェック、内部監査計画	運用状況を全般的にチェックします。特に、内部監査実施に向けて、詳細に計画をたてます。
14	内部監査実施	コンサルタントとともに内部監査を実施します。
15	最終チェック(模擬審査)	内部監査の指摘事項に対する是正状況を中心に、システム実施状況の最終確認を行います。

※このスケジュールはあくまで例であり、実際のお見積り・契約に際してはそれぞれ個別のスケジュール案をご提示させていただきます。